

決算発表を行う高橋社長(右)



# JTB

## 2018年度決算は増収減益 システム開発中止などで減損処理 ダイナミック化へ対応急ぐ

JTBが5月24日に発表した2018年度決算は、売上高が前年比3.4%増の1兆3673億9600万円、営業利益が23.2%増の33億3000万円を計上した。主として、システム開発中止による減損処理が影響している。また、ダイナミック化への対応急ぐという方針を打ち出した。

最終赤字は09年度以来最大の129億3600万円、営業外損失33億1000万円を計上した。システム開発中止に伴う減損処理は35億円。武田氏が取締役として就任した。同日開催の株主総会では、武田氏が取締役(非常勤)に就任することが決まった。

### JTB、新役員人事を内定 武田氏が取締役に

JTBは5月24日、取締役会内で定内として阪本孝幸氏(兼ロバール事業担当)と武田淳氏(兼取締役)の2名を新役員として内定した。武田氏は取締役(非常勤)に就任することが決まった。

### クルーズ船で宿泊

JTBは15日、東京2浜山下埠頭にクルーズ船2000トン級競艇大会期間中にクルーズ船として宿泊するサン・プリングをクルーズ船で宿泊した。クルーズ船は通常のクルーズと同様に、船内エンターテインメントやアクティビティが楽しめる。宿泊料金は、20年7月27日から2泊、スイートルーム利用で、7月28日までの合計3千円を商品化している。

### ラグビーW杯の観戦ツアー発売

JTBは6日、9月20日から11月2日に開催されるラグビーワールドカップ2019日本大会の国内唯一の公式旅行会社として、公式観戦券付ツアーの先着販売を開始した。

# JTBトップインタビュー

旅行販売のウェブ化が進んでいるが、旅行会社がこの影響を大きく受けているのが個人旅行販売の分野だ。JTBは2019年度に宿泊販売4500億円を達成するためにどんな策を打つか。常務取締役個人事業部長の光山清秀氏にその取り組みや意気込みを聞いた。



常務取締役 個人事業部長 光山清秀氏

## 「売りモノ・売り方改革」推進 原点に返り顧客増やす

「今年度の宿泊仕入れのポイントは、市場での競争に勝つこと。売り方改革は、お客さまに価値を見いだせる商品づくりを推進したい。売り方改革は、お客さまに価値を見いだせる商品づくりを推進したい。売り方改革は、お客さまに価値を見いだせる商品づくりを推進したい。」

18年度、国内個人旅行を大幅に割り込んだ。これはマーケットが動いたから。自然災害の要因も大きい。光山は18年度は大阪府北部地震から始まり、西日本豪雨、台風、北海道胆振東部地震と自然災害が続いた。しかも夏は異常な暑さだった。観光客の動きも変わった。U.S.のマーケットも変わった。U.S.のマーケットも変わった。U.S.のマーケットも変わった。

19年度はどうか。光山は「原点に返り顧客増やす」を掲げている。原点に返り顧客増やす。原点に返り顧客増やす。原点に返り顧客増やす。原点に返り顧客増やす。原点に返り顧客増やす。

戦略機能を持つ一任商品戦略。戦略機能を持つ一任商品戦略。戦略機能を持つ一任商品戦略。戦略機能を持つ一任商品戦略。戦略機能を持つ一任商品戦略。

### JTB旅ホ連特集

JTB旅ホ連特集。JTB旅ホ連特集。JTB旅ホ連特集。JTB旅ホ連特集。JTB旅ホ連特集。

